

2022年7月28日

『Iwatan-iスペシャル 鳥人間コンテスト2022』 読売テレビ本社では琵琶湖を学ぶイベントを開催

1977年の第1回大会から45年に渡り、琵琶湖の雄大な自然を舞台に、地域や視聴者の皆様に支えられてきた「鳥人間コンテスト」。今年は7月23日(土)と24日(日)に滋賀県彦根市の琵琶湖・松原水泳場で開催されました。

これに合わせて、読売テレビ本社では、滋賀県立琵琶湖博物館の協力を得て、琵琶湖の自然環境を学ぶイベントを実施しました。



7月23日と24日の2日間、読売テレビ本社1階ロビーでは、琵琶湖の水環境、生態系を守るうえで重要な植物「ヨシ」を守る取り組みに関するパネルや、そこに生息する生き物の標本など、琵琶湖の自然環境について学ぶ展示を行いました。23日には、滋賀県立琵琶湖博物館副館長の亀田佳代子さんが、琵琶湖に生息する水鳥に関する特別授業を開催。授業では、水鳥の種類や、水に潜るために体の特徴、また水鳥の自然の中での役割など、受講した子ども達にもわかりやすく説明されました。



琵琶湖のヨシや生き物に関する展示物



ヨシで制作されたオブジェの展示



琵琶湖博物館 亀田副館長による特別授業

受講した親子連れからは、「こんなに多くの種類の水鳥が琵琶湖にいるとは知らなかつた」「湖の魚を食べ、森で巣を作る水鳥の糞に、森にとって大切なものが含まれている、水鳥の自然の中での役割に驚いた」などの感想が寄せられました。

亀田副館長は「水鳥の話を通して、受講した子どもたちには琵琶湖に対する関心も持つてもらえたうれしい」と語りました。

また、1階ロビーの370インチの大型モニターでは、鳥人間コンテストの全てのフライトを読売テレビアナウンサーが実況をしながらライブ配信するパブリックビューイングを実施しました。さらに会場では、ヘッドマウントディスプレイを装着し、滑空機のパイロットとしてフライトを体験できるVR体験や、みんなで紙飛行機を飛ばして遊ぶコーナーが設けられ、訪れた親子連れが思い思いに楽しんでいました。



ロビー2階からみんなで紙飛行機を飛ばす



ヘッドマウントディスプレイをつけた滑空機パイロットのVR体験

一方、鳥人間コンテストが行われている滋賀県彦根市・松原水泳場では、毎年、大会開催期間中にスタッフと出場チームによる清掃活動を行っています。

今年はこの活動に、琵琶湖で特定外来生物の除去活動や、湖岸の清掃作業を定期的に実施している学生ボランティア「IVUSA」の方々にも参加いただきました。これは琵琶湖の環境保護と地域共生というSDGsの観点を踏まえ、第三者の視点からアドバイスを求めるものです。IVUSAのメンバーは、会場における、ごみ処理課題、回収、分別状況なども観察、今後の大会に向けた提言をまとめることになっています。



参加した IVUSA のメンバーは「大会の緊張と熱氣があふれる中で、2 日間の清掃活動を通じ、SDGsの観点からより環境負荷を軽減できるよう、私たち大学生も力を合わせて、考えていきたいと思った」と活動を振り返りました。

読売テレビでは、今後も琵琶湖の環境保全に取り組む様々な団体との連携を深め、より環境に配慮したイベント開催や番組作りに取り組んでまいります。

【NPO 法人 IVUSA(国際ボランティア学生協会)】

会員 2500 名が所属する学生ボランティアの全国組織で、主に災害の被災地救援、環境保護、地域振興、貧困家庭支援などの社会課題に取り組み、琵琶湖では特定外来生物の除去活動と、「びわそう」と称した湖岸の清掃作業を定期的に実施。



- ◆番組名 : Iwataniスペシャル 鳥人間コンテスト 2022
- ◆放送日時 : 2022 年 8 月 31 日(水) よる 7 時~
読売テレビ・日本テレビ系 全国ネット